

体長15m、迫力の恐竜標本

紅葉の丹波路へ

バス旅行に33人参加

北区会秋のバス旅行は小春日和に恵まれた11月13日、33人が参加して丹波竜の里や地酒メーカー、道の駅などを訪ね、楽しい一日を過ごした。

朝8時前に谷上駅を出発、しあわせの村で半数をピックアップし、丹波路をひた走り。10時には丹波竜の待つ「化石工房ちーたんの館」に到着した。

圧巻は体長15mもの恐竜の骨格標本が室内いっぱいに広がる館内。「こんな大きな動物が1億年前には丹波一帯にいたんやなあ」とまずびっくり。ここで発見者の村上茂さん（丹波氏在住=写真）が登場。

13年前（2006年）に近くの川岸で化石の一部を発見して専門家に見せたところ「こりゃ本物。世紀の大発見です」と指摘され驚いたという話など、エピソードや発掘の裏話の熱弁に1時間も聞き入ってしまった。



発掘は、以後6次にわたって2012年まで続けられ、いくつかの新たな恐竜化石も加わり、現在の規模になった。この恐竜の学名は「タンノパティタニス・アミキティアユ」という舌を噛みそうなややこしい名前でも竜脚類に属し草食動物だという。恐竜の化石がほぼ1か所でまとまって出土したのは日本で初めてのことで、専門家も仰天。丹波竜の名を一躍広めたそうだ。

たっぷり化石の勉強したところで、柏原の料亭へ移動して昼食を摂る。午後は「小鼓」というお酒を出しているメーカーを見学。若い女性社員の案内で工場を一巡する。ここでは女性社員もいて、冬場ばかりでなく、年中お酒を造っているのだという。やや甘口の飲



館内いっぱいに展示され、人気上々の丹波竜の化石群

みやすい純米酒をちょっぴり試飲させてもらい、気分よく次の目的地へ。

道の駅・おばあちゃんの里は、ごく普通の道の駅。栗も黒枝豆もシーズン終了で、季節ものは柿くらい。皆さん特に買いたい物もなさそうで、帰路を急ぐ。途中、めんたいパークという明太子専門店に寄って一路神戸へ。道路も空いており予定より30分ほど早くしあわせの村へ帰り着いた。

【バス旅行参加者=敬称略】 武田恵津子、渡辺千恵子、山本幸子、安部文隆、樽井啓祐、坪中泰子、藤田靖子、芦田義和、木田育義、伊谷正弘、長谷川士土、持田稔、持田久美子、中西優、高橋毅、土井徹哉、木村成男、道崎俊徳、南形徹、佐伯義昭、片岡照夫、宮岡康、片岡隆夫、片岡克江、野見嘉弘、山口俊雄、徳山忠子、飯川泰取、有井由紀子、山田和子、鬼村 信示、前田仁子、宮崎洋子

（取材・南形徹、写真・木村成男）



丹波竜のちーたんの館

子供たちと楽しく朗読10年も

名作や童話を月2回

山田和子さん(福祉14期)

学習支援では珍しい“読み聞かせ”を10年以上も続けている山田和子さん(福祉14期、若葉台在住)。この冬1番の寒い朝となった12月6日、桜の宮小を訪ねて授業ぶりを見学させてもらった。この朝、山田さんは『半日村』と『おおきなかぶ』というタイトルの大型絵本2冊を持参して8時過ぎに2年生の教室に現れた。

「おはようございま〜す」。教室中が急ににぎやかになる。「きょうは何やる。かぶは知ってるで」。黒板の前に机を置いて8時20分から朗読開始。まずは『半日村』。大きな山があって1日のうち半日しか太陽が見えないという村で、子供たちや村人たちが総出で山の土を削り、湖に運んで湖を埋めてしまうというお話。

『おおきなかぶ』は、ねずみ・ねこ・おばあさん・おじいさんが力を合わせ、よっこらしょ、どっこいしょと大きなかぶ(蕪)を引っこ抜くという愉快なお話。22人の子どもたちは一生懸命に聞いている。読み終わると「ありがとうございました!」と大声でお礼の言葉が飛び交う。

山田さんが朗読の道にのめりこんだのはK S C在学中に入った「あかりの会」がきっかけ。朗読



2年生の教室で絵本の朗読をする山田さん

や紙芝居をあちこちの施設で披露するクラブだ。養成講座に通って発音や発声の練習を重ねた。その後、グループ〈わ〉の紹介で桜の宮小で読み聞かせをするようになった。今は月2回のペースで、2年生相手に朝の授業の前に絵本を読む。子供たちの前で読む本は1年間にざっと40冊にもなる。大型絵本は重いので持参するのも大変。灘区に住む娘さんに手伝ってもらって中央図書館から借りて来る。子どもたちに人気なのは、やはり名作や童話など面白い本。子供たちの笑顔を見ると、やってよかった、と自分も嬉しくなる。

桜の宮小にはもう1組、1年生相手に読み聞かせをしているグループがいる。南形徹(生環14期)、公子(福祉13期)夫妻だ。こちらは飽きないように簡単なマジックも披露している。2年生も1年生も子供たちは大喜び。月2回の朗読の日を楽しみにしており、先生たちからも感謝されている。

山田さんはすでに10年も続けているので、「そろそろ次の方にバトンタッチしたいと思っています。引き受けてくれる方いませんかねえ」。

(取材・南形徹、写真・芦田義和)



【最近の心境をうたった山田さんの短歌】
読み聞かせ吾待ちくれし子たちから元気もらいて
十年たちぬ

「かぶ」の話を熱心に聞く子供たち



ボランティアの現場 ⑦

淡河の名瀑と紅葉の石峯寺を歩く

●木田育義（生環16期・東大池在住）

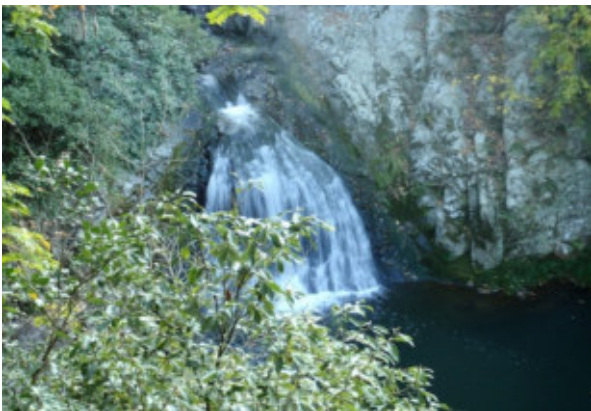
私たちの住んでいる北区は、神戸の中心部三宮から電車で僅か20分程度のところにあるにもかかわらず、自然が豊かで、古くから、都に通じる交通の要所で、人々が往来し、都の文化の影響を受けた、歴史的に貴重な史跡や文化財が数多く残っています。

「北区の歴史の道を歩く」は、自身の健康・体力づくりと、会員相互の親睦を図り、豊かな自然に恵まれた郷土の歴史を辿りながら、「北区の魅力を再発見」するウォーキングです。第7回目は、令和元年11月25日に「淡河町の名瀑（曇り滝）と北区の紅葉の名所、古刹（石峯寺）を訪ねる」を企画しました。

石峯寺は飛鳥時代前期、白(はく)雉(ち)2年(651年)に孝徳天皇の勅願により、伝説の修行者“法道仙人”が開基したと伝えられ、鎌倉時代には、東西2里、南北1里の広大な敷地に72もの堂塔や僧坊が立ち並び、大変栄えていました。しかし、嘉吉(かきつ)元年(1441年)に守護大名赤松満祐(みつすけ)が、室町幕府第六代将軍足利義教(よしのり)を暗殺した「嘉吉の乱」後、山名家を中心とする幕府軍によって攻められ、兵火で全山のほとんどを焼失してしまいました。さらに織田信長・羽柴秀吉による三木城攻めなどで衰退しましたが、江戸時代に入り、徳川家光公より十三代に亘り70石の御朱印寺領を受け、諸堂を建立し、参拝者で賑わったと伝えられています。

今回のコースは、道場南口から神姫バス三木営業所行きの便で上野丘学園口前まで行き、川沿いの道を遡ると「淡河町の名瀑」十数メートルの落差の「曇り滝」が河の向こう岸に見えてきます。

滝を過ぎて、のどかな田園の中の石峯寺への参拝



道を30分ほど歩くと山門にて、それをくぐると、真直ぐに参道がのび、境内には、鼓楼・鐘楼・地藏菩薩が祀られている本堂と、天平19年(747年)聖武天皇の勅願で建立された薬師堂があり、そこに、安置されている「薬師如来」は、行基が開眼したと伝えられています。その裏手に弘仁14年(823年)嵯峨天皇の勅願による、朱塗りの三重塔が建てられています。新緑の頃も美しいのですが、真っ赤に色付いた楓越しに見る塔は、その重厚で堂々たる姿で、訪れた人を魅了します。

今回の企画あたって、三度の下見、図書館での郷土の歴史の調査、特に寺の住職にお願いし、春の祭典の日以外は御開帳されない、御本尊「薬師如来座像」と脇侍の「日光・月光菩薩」を特別に拝観させていただけることになっていただけに大変残念でした。【写真】㊦=曇り滝 ㊧=朱塗りの三重塔

●**お詫** 秋のハイクは10月25日に実施予定でしたが、天候悪化が予想されたため中止としました。世話役の木田育義さんが、事前にコースを踏査されていたので、その際のレポートを掲載しました。

美術の秋 がんばって制作に励もう

趣味の会は熱心に例会を開催



【写真の会】

▲写真の会の作品から。森松公園で

11月22日に行われる予定だった紅葉の森林公園での撮影会は、天候悪化のため中止となった。ただ、当日は曇天だったので木村講師と道満委員が現地へ赴き、写真を撮って来てくれました。掲載の写真はXマスバージョンのトナカイやサンタさんのオブジェです。12月例会は27日（金）に師走の繁華街を散策して師走らしいシャッターチャンスを狙います。連絡先は木村成男まで（581-1701）。

【折り紙の会】

折り紙の会は11月27日で31回目を迎えた。来年の干支はねずみ（子）。榎田みどり講師から干支にまつわる話を聞いて制作を始めた。12月の例会は25日12時から1・2教室で開かれ、ヒナ人形を折った。1月例会は29日12時から1・2教室で。連絡先は道満俊徳（090-237-1402）まで。



【絵手紙の会】

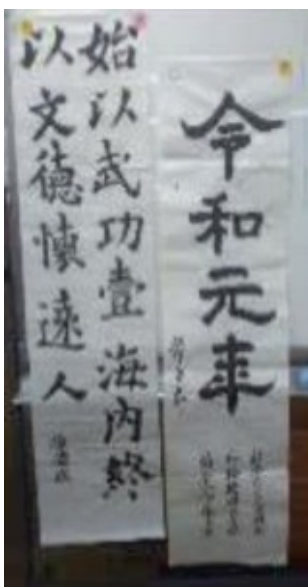
講師は野見喜昭。11月の例会は14日。各自が持参した野菜や果物を描いた。講師からは作品展に出す場合は、ペンよりも筆で濃く描く方が見栄えがする、とのアドバイスがあっ



た。12月の例会は12日に開かれ、ネズミの絵などを描いた。ネズミの色はグレーにとらわれず、好きな色をつけるといい、とアドバイスがあった。1月例会は9日12時からカレッジG1教室で。連絡先は芦田義和まで（090-1969-6692）。

【書道の会】

11月18日に第16回目の例会をおこない、「知・困」の練習をした。「令和元



年」の作品は藤澤淑子講師のお手本。12月の例会は23日におこなわれ「忘」「言」の練習をした。1月の例会は20日9時30分から12時30分までKSCの教室で。問い合わせは土井昭政（090-653-0205）まで。

●他区会の催し ▽垂水区 11月26日にボウリング大会を開催。▽西区 10月18日に秋のウォーキング大会を開催。▽須磨区 10月27日に20チームが参加してウォークラリーを開催。